

令和7年9月24日

福津市議会

議長 高山 賢二 様

総務文教委員会

委員長 石田 まなみ

総務文教委員会審査報告書

令和7年第6回福津市議会定例会において、本委員会に付託を受けておりました事件についての審査結果を、会議規則第110条及び第143条第1項の規定により次のとおり報告いたします。

記

1. 審査経過

付託年月日 令和7年9月1日

審査年月日 令和7年9月9日

2. 出席者

委員 石田委員長、中村恵輔副委員長、岩下委員、佐伯委員、尾島委員、
中村清隆委員

執行部 谷口総務部長、花田経営企画部長、宮原教育部長、
竜口総務課長、吉崎人事秘書課長、樺村防災安全課長、
高山防災安全課主幹、石津人事係長、新海人事係長

紹介議員 戸田議員

◎議案第38号 福津市職員の育児休業等に関する条例を改正することについて

審査内容

(1) 主な質疑及び答弁

(質疑)第1号部分休業は勤務時間の始まりまたは終わりに休業を取得、第2号部分休業は勤務時間中の一部を休業として取得可能になるという理解でよいのか。

(答弁)第1号部分休業は始まりまたは終わりに限らず2時間まで取得可能に改正し、第2号部分休業として年間を通じて取得できる方式を追加した形で、どちらかを選択できるように改正を行う。

(2) 主な意見

なし

(3) 審査結果

本委員会では、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎議案第39号 福津市職員の勤務時間、休暇等に関する条例を改正することについて

審査内容

(1) 主な質疑及び答弁

なし

(2) 主な意見

なし

(3) 審査結果

本委員会では、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎議案第40号 財産の取得について

審査内容

(1) 主な質疑及び答弁

(質疑)指名競争入札は 12 社に対して指名通知をし、応札は 2 社、辞退は 10 社となっている。辞退理由は把握しているか。

(答弁)1 社は業務多忙による履行体制確保困難、残り 9 社は仕様を満たすことができないことが理由である。

(質疑)現行車と比べて性能にどのような違いがあるか。また、バックモニターは搭載されているか。

(答弁)現行車は 3.5 t 以上のトラックを使用しているが、今回購入する車両は車種を変更し、3.5t 未満となっている。バックモニターは搭載されている。

(2) 主な意見

なし

(3) 審査結果

本委員会では、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎請願第2号 学校給食費の無償化を求める請願

審査内容

(1) 主な質疑及び答弁

(質疑)年間の給食費実績はどの程度か。無償化するためには財源確保が必要になるが、どのように考えているか。

(答弁)無償化した場合の年間費用は実績から約 4.5 億円と想定している。市が独自財源で実施する場合の財源確保について、議会としては、行政に対して財源確保を含めて住民の要望を実現するための働きかけを行うこと、中期財政見通しや予算案について財政運営のチェックを行うこと、歳入および歳出の精査・改善を働きかけることが必要であるという認識である。

(質疑)アレルギーや宗教的理由で弁当持参、または不登校の児童生徒への対応は、どのように考えているか。

(答弁)アレルギーや宗教的理由で給食を利用できない、また不登校の児童生徒にも公平に対応できるよう、他自治体の事例も参考にしながら、不公平感のない制度設計が必要と考えている。

(2) 主な意見

(賛成)教育の一環である学校給食の無償化は行政の責任で実施すべきであり、昨今の物価高騰で子育て世代の経済的負担が増えている中で、給食費の無償化は保護者の負担軽減に有効と考える。今回集められている市民の署名や昨年12月定例会で国への意見書を採択したことも踏まえ、本請願に賛成する。

(反対)無償化した場合に発生する年間費用の試算は約 4.5 億円で、現在の市の財政状況では全額無償化は困難と考える。子どもたちの命を守るための体育館への空調設置など、他施策とのバランスを考慮し、財政状況を見据えた上で、段階的支援が望ましく、今回の請願には反対する。

(3) 審査結果

本委員会では、賛成多数により採択すべきものと決定した。

(4) 関係機関への送付、処理の経過及び結果の報告

請求する。